

エコモット、2019 年度 B-DASH プロジェクトにて 「ICT 技術（クラウド AI システム）を用いた汚水マンホールポンプの スマートオペレーションの実証」に参加

下水道施設を効率よく管理する革新技術の実証研究を実施

2020 年 1 月 21 日

エコモット株式会社（代表取締役：入澤 拓也、本社：北海道札幌市中央区、以下「エコモット」）は、国土交通省が実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）（※1）において、エコモットを含む 5 者からなる共同研究体（※2）で提案した「ICT 技術（クラウド AI システム）を用いた汚水マンホールポンプのスマートオペレーションの実証」に取り組んで参ります。

共同研究体のそれぞれの役割	
株式会社新日本コンサルタント	全体とりまとめ 統合管理クラウドシステム構築
株式会社日水コン	ストックマネジメント支援システム構築
エコモット株式会社	AI エンジン搭載検知予測システム構築
北海道大学	AI エンジン搭載検知予測システム構築
富山市	フィールド提供

※ 1 新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるエネルギー利活用の効率化やストックの LCC（ライフサイクルコスト）低減等を推進し、水ビジネスの海外展開を支援するため、平成 23 年度より国土交通省が実施している実証事業です。公募・有識者審査により採択された革新的技術について、受託者が実規模プラント等を設置し、効果の実証を行うものです。

※ 2 共同研究体は株式会社新日本コンサルタント（代表取締役社長：市森 友明、本社：富山県富山市）、株式会社日水コン（代表取締役社長：間山 一典、本社：東京都新宿区）、国立大学法人北海道大学（総長：名和 豊春、本部：北海道札幌市北区）、富山県富山市（市長：森 雅志）、及びエコモット株式会社の 5 者で構成されます。

■実証事業の概要

汚水マンホールポンプ場（以下、マンホールポンプ）は、全国に約 47,000 基設置されています。老朽化した施設の維持管理・更新費用が年々増加するとともに、数多くのポンプ場を有する自治体においては、維持管理の人材不足といった課題が顕在化しつつあります。

このような課題に対し、本事業では、マンホールポンプの電流値や絶縁抵抗値といった異常・劣化の目安となるセンサーデータをクラウドに収集し、維持管理データと合わせて AI による異常検知や劣化予測を行います。これによりマンホールポンプの維持管理の効率化及びライフサイクルコスト（LCC）の削減効果を実証します。実証フィールドは、多くのマンホールポンプ場を有する富山市を対象に、360 箇所のうち 60 箇所において実証を行います。

実施者名：株式会社新日本コンサルタント・エコモット株式会社・株式会社日水コン・北海道大学・富山市 共同研究体

実証フィールド：富山市 マンホールポンプ場 60 箇所

実証期間：2019 年度～

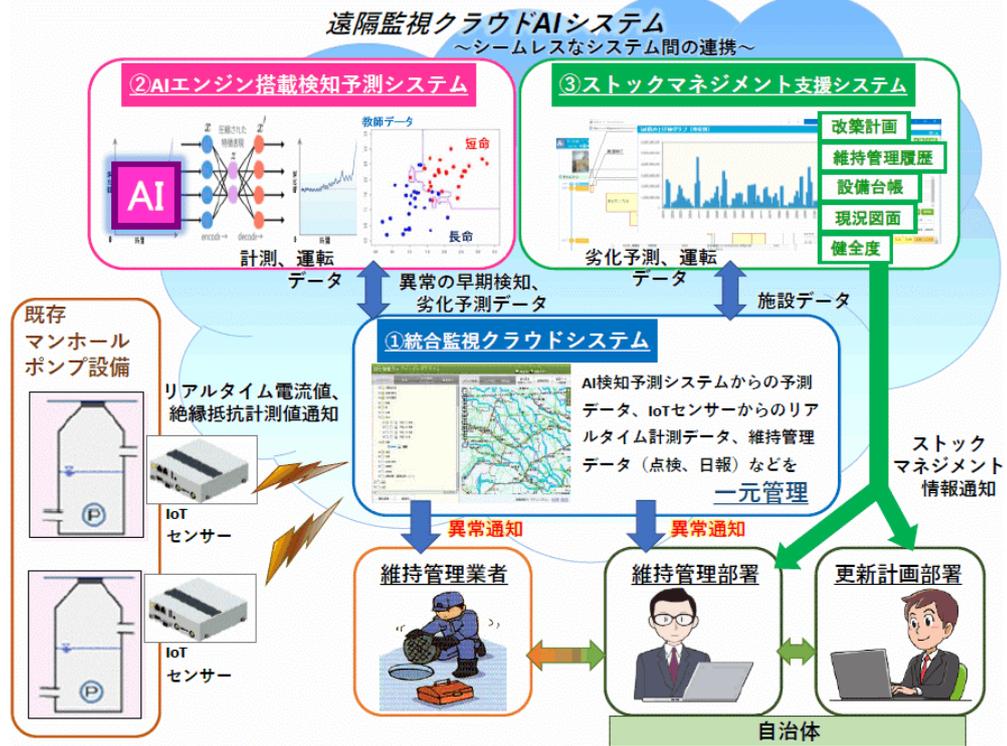
※本事業は国土技術政策総合研究所からの委託に基づき実施します。

現状の課題

経過年数等を基準とした一律の点検、機器交換、すべて人手による作業のため維持管理・ストックマネジメントの現場において人手が不足

実証技術

ポンプ個別の状態に応じた維持管理・ストックマネジメントを IoT でサポートすることで、現場の人手不足状態を解消



■ エコムット株式会社について

エコムットは2007年の創業以来IoT専門のソリューションベンダーとして、センサー・自社開発通信デバイスの提供を行うとともに、多様な顧客ニーズに応じたカスタマイズ、現場での設置ノウハウを提供し、あらゆる「モノ・コト」からセンシングを可能にするソリューションを提供しています。2017年6月に札幌証券取引所アンビシャス市場、2018年6月に東京証券取引所マザーズへ上場。2019年1月にKDDI株式会社と資本業務提携いたしました。

所在地 : 〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2丁目5番2号 札幌泉第1ビル1階

代表 : 代表取締役 入澤 拓也

設立 : 2007年2月

資本金 : 6億12百万円(2019年3月末現在)

事業内容 : IoTソリューションの企画、およびこれに付随する端末製造通信インフラ、アプリケーション開発、並びにクラウドサービスの運用・保守に関する業務のワンストップでの提供

URL : <https://www.ecomott.co.jp/>

本件に関するお問い合わせ先

エコムット株式会社 経営企画部 : 薄木・國塚

TEL : 011-558-6600 MAIL : press@ecomott.co.jp